

## 第24回福岡県公立大学法人評価委員会 議事要旨

### 1 日時

平成23年8月31日（水） 10:00～

### 2 場所

福岡県庁 行政棟10階 特1会議室

### 3 出席者

齋藤委員長、中津井委員、中村委員、新田委員、藤田委員、尾形特別委員

### 4 議題

- (1) 第2期中期目標案について
- (2) 第2期中期計画案について
- (3) その他

### 5 議事概要

#### (1) 議題(1)について

事務局から中期目標案の修正箇所の説明後、委員による審議が行われた。

#### (2) 議題(2)について

事務局から中期計画における三大学共通事項について説明、福岡女子大学から中期計画案の説明、九州歯科大学及び福岡県立大学から中期計画案の修正箇所の説明後、委員による審議が行われた。

委員からの主な意見は次のとおり。

#### 〈福岡女子大学の中期計画案に関する意見〉

- 外国人留学生選抜入試について、大学が主体的に選ぶのは大変である。国の推薦を取り入れた方が良い。そうすることによって国の多様化が図れるのではないか。
- 評価指標の「管理栄養士国家試験合格率：全国平均以上」について、福岡女子大学として全国平均というところに判断基準を置くのは如何なものか。
- 「教員の教育能力の向上」について、学生の評価と教員の自己評価を相対させ、その結果を情報公開する。そうすることにより学生と教員の信頼関係もでき、授業改善に繋がり、教員の教育能力の向上になるのではないか。中期計画の中で、それを目指した形で記載されたい。

#### 〈九州歯科大学の中期計画案に関する意見〉

- 評価指標の「歯科医師国家試験合格率：全国10位以内（新卒受験者）」について、全国唯一の公立歯科大学として10位以内で良いのか。

- 「給与支給事務等の外部委託による事務職員の削減」について、具体的に、外部委託すると経費削減になるのか。評価指標もないし、事務職員を何人削減するとの記載もない。
- 「百周年記念事業を活用した大学情報の発信」について、百周年記念事業は何年か活用しないといけない。  
教職員、学生も含めて、百周年記念事業に居合わせることの意義の認識、それが共通の認識としてブランドイメージと大学に対する帰属心といったものになる。

〈福岡県立大学の中期計画案に関する意見〉

- 評価指標の「国家試験合格率：社会福祉士65%以上、精神保健福祉士65%以上」について、第1期中期計画と同じ数値目標としているが、実績は十分上回っている。もっと高くても良いのではないか。
- 「両学部連携の大学院博士課程の新設検討」について、新しく卒業してくる人の中から、来たいという人が毎年でるようなコンセプトで作らなければならない。説明として「自前の大学院」ではダメ。  
看護と福祉、考え方は新しい。
- 「学生納付金確保に対する取組の強化」について、ある程度システム化されており、納付率100%という目標もほぼクリアに近い状態となっているものであれば、あえて目標にする必要はないのでは。

〈その他三大学に共通する意見〉

- 「財務」に関し三大学共通の指標が見いだしにくい。今後、各大学の財務分析を行い、情報公開や他大学との比較等を通して財務的な問題点が明確になるような取組が必要でないか。